

こども家庭庁令和7年度NPO等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業
ポリフォニックミュージアム

博物館部 ―地域住民による学びと創造の居場所づくり―

緑 画

り
よ
く
が



草花で絵を描こう

自然に触れる
土地に触れる

日時:2025年11月2日(日)10:00~12:00

※9:45 福島県立博物館前庭に集合

※車で来場の方は、福島県立博物館の駐車場をご利用ください。
※雨天の場合は、博物館敷地内で開催します。
エントランスにお集りください。

場所:鶴ヶ城児童遊園周辺(市民プール隣の緑地)

教えてくれる人:村山修二郎さん(美術家/秋田公立美術大学教授)

これまで緑画を学んできた地域のみなさん

連携団体:NPO法人はるなか

対象:未就学児、小学生。

申込不要

緑画に関心のある方どなたでも。

※未就学児、小学生は保護者と一緒にご参加ください。

参加費
無料

主催:福島県立博物館



美術家の村山修二郎さんが考案した生の植物を直接紙に擦りつけ絵を描く制作方法です。
植物のさまざまな色やにおい、感触に触れて、身近な植物が色となり線となり、
表現となる面白さを体中で感じる体験、自然を感じ、
命の大切さに気付く体験となるはずです。

福島県立博物館ではこれまで、子どもたちが地域の自然や歴史・文化にふれる
「ファーストミュージアム」の一環として緑画に取り組んできました。
より多くの子どもたちに緑画を体験していただきたく、今回は鶴ヶ城で開催します。

村山さんと一緒に、秋の鶴ヶ城の自然に触れましょう！
村山さんから緑画を学んできた地域のみなさんも、
緑画の面白さ、楽しさを伝える人として参加します。

植物の種類や特徴については、NPO法人はるなかのみなさんが教えてくれますよ。

緑画(りよくが)とは？



村山修二郎

美術家。秋田公立美術大学教授。1969年東京都生まれ。植物を介した
アート・コミュニケーションをテーマに、植物に内在する初源的な力
を抽出した制作を行う。子どもたちを対象としたワークショップを、
福島、秋田、宮城、東京などさまざまなエリアで開催。2008年から、植
物(花・葉・実・枝など)を手で直接紙や壁に擦りつけて描く「緑画」手法
を考案、絵画技法として確立し、さまざまな地域で土地に同化するよう
に制作発表している。



展示

「しぜんのいろ、いろいろ」

入場無料

11月2日に制作した作品を博物館で展示します。

期間:11月5日(水)~11月14日(金)

会場:福島県立博物館

雪国ものづくり広場 なんだべや

時間:9:30~17:00

休館日:11月10日(月)



ポリフォニックミュージアム

地域のみなさんと博物館とが協働し、それぞれの専門性や博物館資源を活用した多様な
プログラムを開発、継続的に実施し、こどもの特性に応じた居場所づくりを行っています。
子どもたちが様々なモノ・コト・ヒトと出会い、地域社会とのつながりを得る機会を創出
することで、子どもたちの自己実現や創造性を育むことを目指しています。

【お問合せ】

福島県立博物館

〒965-0807 会津若松市城東町1-25

TEL 0242-28-6000

開館時間 9:30~17:00(チケット販売は16:30まで)

休館日 毎週月曜日、祝日の翌日

